

# 1 神奈川県公立高等学校入学者選抜制度の概要

	全日制	定時制	通信制
<b>募集</b>	募集人員は募集定員の100%とします。	募集人員は募集定員の80%とします。 ※ 夜間以外の定時制は募集定員の100%とします。	
<b>志願</b>	ひとつの課程・学科・コース等に志願します。志願変更ができます。志願には願書と面接シート等を提出します。		
<b>検査</b>	<b>【共通の検査】</b> (*1) (☆) 学力検査(原則5教科)・面接 ※ 特色検査を実施する場合は3教科にまで減じる場合があります。	<b>【共通の検査】</b> (☆) 学力検査(原則3教科)・面接 ※ 理科・社会を実施する場合があります。	面接または作文
	特色検査(実技検査・自己表現検査)を実施する場合があります。		
<b>選考</b>	<b>【第1次選考】</b> 募集人員の90%まで、調査書の評定(2・3年)(*2)と実施した検査の結果をもとに定められた数値算出の方法(※)で選考します。 <b>【第2次選考】</b> 調査書の評定を用いずに、実施した検査の結果をもとに募集人員まで選考します。(*3)		調査書と実施した検査の結果をもとに総合的に選考します。

共通選抜の機会

☆ 共通の検査の学力検査(外国語(英語))においては、全日制・定時制ともにリスニングテストを実施します。

## 特別な設置趣旨の学校について

\*1 クリエイティブスクール(県立田奈高等学校、県立釜利谷高等学校、県立横須賀南高等学校の普通科、県立大井高等学校、県立大和東高等学校)は、学力検査を行いません。

\*2 クリエイティブスクールは、調査書の評定は使わず、観点別学習状況を活用します。  
フロンティアスクール(県立横浜明朋高等学校および県立相模向陽館高等学校)でも、調査書の評定は使わず、必要に応じて観点別学習状況を活用し総合的に選考します。

\*3 県立横浜国際高等学校では選考方法が異なります。10 ページの基本事項Q&A や 19 ページの選考基準を参考にしてください。

## <二次募集>

欠員がある場合、必要に応じて実施します。

定通分割選抜の機会

**募集**

共通選抜の募集人員を差し引いた人員を募集(共通選抜の募集人員を満たしていない人員も加えます。)

**志願**

ひとつの課程・学科に志願します。志願変更ができます。志願には願書と面接シート等を提出します。

**検査**

**【共通の検査】**  
学力検査(3教科)・面接

面接または作文

特色検査を実施する場合があります。

**選考**

調査書の評定(2・3年)と実施した検査の結果をもとに定められた数値算出の方法により選考します。

調査書と実施した検査の結果をもとに総合的に選考します。

## 【共通選抜の二次募集】

学力検査(3教科)を実施し、面接を行う場合もあります。調査書と実施した検査の結果をもとに総合的に選考します。

## 【定通分割選抜の二次募集】

定時制は面接、通信制は面接または作文を実施します。調査書と実施した検査の結果をもとに総合的に選考します。

## ※ 数値算出の方法

調査書の評定(A)・学力検査の得点(B)・面接の結果(C)をもとにします。

それぞれを100点満点に換算した(a)、(b)、(c)を各学校が定めた比率(f、g、h)で合計数値を算出します。

合計数値  $S = (a) \times f + (b) \times g + (c) \times h$  (f、g、hは2以上の整数とし、 $f+g+h=10$ となるよう設定します。)

特色検査を実施した場合は、その結果(D)を100点満点に換算した(d)を加えます。

合計数値  $S = (a) \times f + (b) \times g + (c) \times h + (d) \times i$  (iは1以上5以下の整数とします。)

◎ 第2次選考では(a)点は使用せず、 $g+h=10$ となるように比率(g、h、(特色検査を実施した場合はi))を改めて設定し算出します。(\*3)